

分科会開催報告書

報告日 令和 4年 4月 30日(土)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第二学習 吉宗と尾張藩主宗春の角逐①
開催日時 令和 4年 4月 28日(木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 8名 女 3名 合計 11名 欠席者 2名	
<p>尾張藩第七代藩主徳川「宗春」は最初の帰国にあたり施政の方向を示した「温知政要」を著わし、綱紀粛正・緊縮を旨とした吉宗の「享保の改革」に反対し、積極経済・放任政策を展開し名古屋を繁栄に導いた。しかしこれから将軍吉宗との角逐が始まる。</p> <p>○(尾張藩)本家を受け継ぐこととなったが、初心が大切なので以下に本意を書いて臣下に示達する。</p> <p>○人の道の基本は「仁」で「慈」と「忍」二字で示され、「慈」は太陽、「忍」は月にとえられる。</p> <p>○武勇知謀の名将は多いが、功業が子孫二代と続かないのは慈仁の心なく私欲が盛んの為。東照宮(家康)は寛仁の徳をそなえ下々まで慈悲深い明君だったから、子孫まで徳行が受け継がれた。</p> <p>○国政に万一誤りがあっても、すぐに改めればよい。しかし刑を科す者は後で悔いても取り返しがつかないので、よくよく吟味の上対処する事。先入観にとらわれてはいけない。</p> <p>○上に立つ者は最初心がけは立派だが、後には政務も取り乱す者が多い。注意すべし。</p> <p>○学問は重要だが、その学び方を誤らないことが最も大切。邪知は禁物。</p>	
次回予定 令和 4年 5月 12日(木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：第一学習 参勤交代(松平春嶽)⑧ 昨夢記事 三	